

※本リリースは 12 月 14 日に深センで発表されたリリースの抄訳版です。



【ニュースリリース】

OPPO、中国国際工業デザイン博覧会に様々なデザインを展示 佐藤オオキ氏率いるデザインオフィス nendo とコラボしたコンセプト製品も登場

【2020 年 12 月 14 日、中国 深セン】スマートデバイス業界をリードするブランド OPPO は本日第 4 回中国国際工業デザイン博覧会（CIIDE）にて「人のための技術」に基づいた複数のコンセプトデザインを展示しました。

これらのデザインは、佐藤オオキ氏率いるデザインオフィス nendo と緊密なコミュニケーションの結果であり、nendo のコンセプトはデザインのさらなる可能性を模索しています。会期中、OPPO は過去の代表的なデザイン製品も展示し、会社設立以来行われてきた本体のデザイン、素材、操作性についての独自の洞察と探求を公開しました。

工業デザイン業界の展示会としては中国国内最大級である中国国際工業デザイン博覧会の今年のテーマは「新デザイン、新しいデザイン、新しいトレンド、新しいモメンタム」でした。このテーマの下、OPPO は業界をリードしてきたプロダクトデザインの回顧展を開催しました。

2008 年、OPPO はデザインが特徴的な初のフィーチャーフォン「A103 Smiley Face」を発売。究極的な美とイノベーションの完全なる相乗を探求する試みはここから始まりました。2012 年には当時世界最薄のスマホの一つであった「Finder」を発売。使用時の持ちやすさや持ち運びのしやすさを追求しました。2014 年には 2.5D 曲面デザインの「Find 5」を発売。2016 年には雪に覆われた山の稜線からインスパイアを受け、デザインの美学と手触りを向上させた「R9」を発売。2019 年、OPPO は当時の市場で最もスリムな 5G スマートフォンである Reno3 を提供。5G 時代の軽快で高速な体験を保証しました。

カメラデザインにおいても、OPPO は常に革新を起こし続けてきました。OPPO は、生活者の自撮りに対するニーズが高まっていると分析し、2014 年に世界初の電動回転カメラ付きスマートフォン「N3」を、2018 年にはカメラ起動時にスマートフォン内からカメラがスライド式にせりあがる設計を採用した全画面スマートフォン「Find X」を発表しています。この技術革新により、フロントカメラ、リアカメラ、センサーなど 11 個の部品を統合し、スクリーン対ボディ比 93.8%を実現しました。

2019 年、OPPO は「Reno 10x Zoom」を発売。ユニークな「ピボットライジングカメラ」を発売することにより、さらに多くの境界線を破り、業界に新しいデザインのアイデアをもたらしました。

今年の 11 月、OPPO は、OPPO INNO DAY 2021 イベントで、OPPO X 2021 コンセプチュアルハンドセットを用いたスマートフォンのフォームファクターに関する最新の研究を再び披露しました。コンセプチュアルデバイスのローラブルディスプレイのサイズは、指定された範囲内で無限に調整可能であり、デバイスの未来と、より人に使いやすくすることができるか新たな視座をもたらしました。

展覧会では、デザインオフィス nendo がデザインした、「slide-phone(スライドフォン)」や「music-link(ミュージックリンク)」などのコンセプトデザインも紹介しました。

「slide-phone」は、OPPO とデザインオフィス nendo が、現状のスマートフォンの新たな可能性を広げることから生まれました。モニターに有機 EL パネルを使用した「折り畳める」スマートフォンが数多く登場する中、その多くは畳まれた状態では通常のスマホの大きさで、開くとその 2 倍、もしくは 3 倍の大きさの画面になるのが主流となっています。この「折り畳める」技術を大画面化に利用するのではなく、畳むことで携帯性を高め、そのコンパクトさを生かした新しい操作感のスマートフォンを考えました。「slide-phone」は、3 つのヒンジを採用し、ユーザーのニーズに合わせて、片手で持ったまま横に「滑る」ような動作で変化させることができます。また、「slide-phone」にはスタイラスペンが内蔵されているため、手書きで文字を書くことができ、メモパッドのような使用感が生まれました。



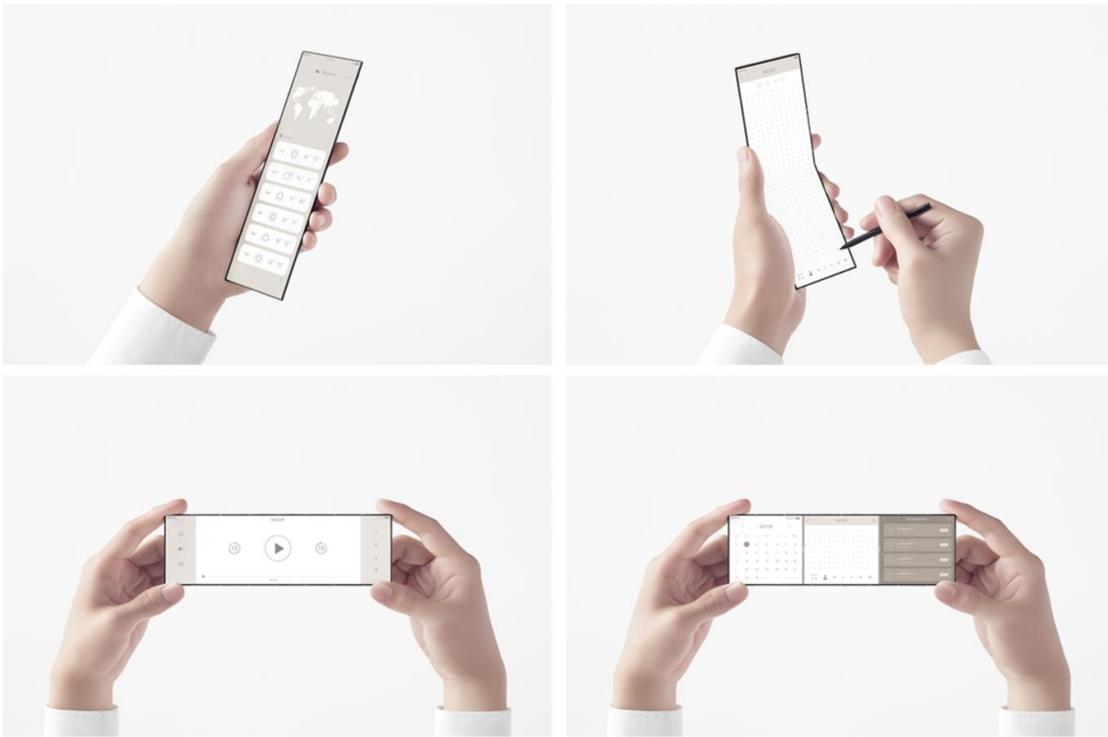
「slide-phone」のコンセプトは応用状況に応じて、様々な形に変換できること。

(写真：吉田 明広)



「slide-phone」は、完全に折りたたんだ状態では、クレジットカードと同じ程度の大きさになります。

(写真：吉田 明広)



(写真：吉田 明広)

「music-link」は、完全ワイヤレスのイヤホンを中心に、スマートウォッチ、AI スピーカー、ポータブル充電器、ワイヤレス充電器を組み合わせたオーディオコレクションです。

このすべての製品は、ユーザーの感性に訴えられるよう丸みを帯びた有機的なフォルムでデザインされており、デザインの統一感を高めています。

また、完全ワイヤレスヘッドホンとポータブル充電ケースをロックして AI スピーカーに乗せると、ヘッドホンからスピーカーまでシームレスな音楽体験を楽しむことができます。

デバイス間の「共生」を目指したこのデザインは、市場に多く見られる「スマートフォン」を中心としたアクセサリ群という考え方ではなく、「イヤホン」を中心とした「音楽体験をシームレスに繋いでいく」ことに主眼を置いたデ

ザインです。



OPPOとnendoが発表したイヤホンを中心としたオーディオコレクション「music-link」
(写真：吉田 明広)





(写真：吉田 明広)

今回のコラボレーションについて、佐藤オオキ氏は「最先端の技術を追求してだけでなく、人と物との関係性や、人と商品の心地よい関係性を意識されている OPPO のみなさんに感銘を受けました。ものに触れたときに人がどう感じるかという情緒的な要素と技術によって生まれる面白いコンセプトが、これからも OPPO から発表されることを楽しみにしています。」とコメントしました。

また、OPPO インダストリアルデザイナーの肖博氏は、佐藤オオキ氏が提唱する「デザインは生活に溶け込んでおり、デザインを通じて誰もが人生の驚きの瞬間を感じるができる」ということは、OPPO のデザイン思想でもある「人のための技術」と共通していると言いました。OPPO は、このデザイン思想のもと、先端技術とデザインの融合でより多くのユーザーに力を与えていきたいと考えています。人の本質に立ち返ることで、技術製品には目を見張るような適切な心地よさがあり、それが探求の原点でもあると考えています。今後も、ユーザーの皆様に快適で快適な技術体験をしていただけるよう努力してまいります。

美しい技術をリードしてきた OPPO は、革新的なデザインと性能向上を目指すためにデザインセンターを設置し、2019年11月22日、中国第4級国家工業デザインセンター認証に合格しました。また、OPPO の最先端のプロダクトデザインは業界でも広く認められています。

今年、「OPPO Find X」と「Reno3 Pro」（日本では「OPPO Reno3 5G」）は日本のグッドデザイン賞を受賞しました。また中国モバイルデザインコンペティションでは「OPPO Find X2 Pro」が天鵝賞を受賞しました。

OPPO は今後もプロダクトフォームデザインを重視し、人と人、人とデバイス、人とシーンの関係をより一体的に、より身近なものにするために、テクノロジーと美学の融合の可能性を追求し続けます。

OPPO について

OPPO は、世界をリードするスマートデバイスブランドです。2008 年に最初のフィーチャーフォン「A103 Smiley Face」を発表以来、OPPO は美的満足度と革新的技術の相乗効果の実現に取り組んできました。現在 OPPO は、OPPO Cloud や OPPO+などのインターネットサービスに加え、Find シリーズや Reno シリーズを中心とした多様なスマートフォンや IoT 機器、ColorOS を提供しています。OPPO は、40 以上の国と地域で事業を展開し、世界で 6 箇所の研究機関と 4 箇所の R&D センター、ロンドンに国際デザインセンターを構えており、世界中のお客様のより良い生活を実現することに日々取り組んでいます。

nendo について

デザインオフィス nendo 代表 佐藤オオキ

1977 年カナダ生まれ。

2002 年早稲田大学大学院建築学専攻修了、同年、デザインオフィス nendo 設立。

Newsweek 誌「世界が尊敬する日本人 100 人」、「世界が注目する日本の中小企業 100 社」に選出され、世界的なデザイン賞で数々の「Designer of the Year」を受賞。

多くの代表作はニューヨーク近代美術館（米）など世界の主要な美術館に収蔵される。

これまで出演したテレビ番組は、「プロフェッショナル 仕事の流儀（NHK）」、「アナザースカイ」（日本テレビ系）など。主な著書に「問題解決ラボ」（ダイヤモンド社）、

「佐藤オオキのスピード仕事術」（幻冬舎）、「佐藤オオキのボツ本」（日経 BP）、「コップってなんだっけ？」（ダイヤモンド社）、「ネンドノオンド」（日経 BP）などがある。

www.nendo.jp

公式 WEB サイト: <https://www.oppo.com/jp/>

Twitter: <https://twitter.com/OPPOJapan>

Facebook: <https://www.facebook.com/oppojapan/>

Instagram: <https://www.instagram.com/oppojapan/>